

報告とお礼 猛暑にもコロナにも負けず 8.10「老朽原発・美浜3号再稼働阻止現地緊急行動」に80人

電力会社、政府、財界などの原発推進勢力は、ウクライナ紛争によるエネルギー逼迫や炭酸ガス削減を口実にして、原発の稼働に躍起です。また、岸田首相は、冬向け電力の逼迫を喧伝し、9基の原発を稼働させる方針を発表しています。

しかし、電気は足りています。一時的な電力逼迫はあっても、節電によって回避できます。このことは今年3月の、地震と寒波に起因する東北、東京エリアでの電力不足、6月末から7月にかけての猛暑による電力不足を、節電で乗り越えた実績が証明しています。

したがって、人々に放射線被ばくを強いる原発を稼働させる必要は全くありません。とくに、压力容器の脆化が進み、配管トラブル多発の蒸気発生器を持ち、原子炉空焚き過酷事故の危険性が高い、老朽原発・美浜3号機、高浜1,2号機の再稼働などもっての外です。

それでも、関電は、原発に前のめりな政府に乗じて、10月に予定していた美浜3号機の運転再開（並列）を8月12日（10日再稼働）に前倒しすると発表していましたが、8月1日に水漏れ（後述）が発覚し、再稼働は延期されています（8月11日現在）。

再稼働予定の美浜3号機は、昨年6月に一旦再稼働したものの、特定重大事故等対処施設の設置が間に合わず、わずか3ヶ月間の営業運転で停止を余儀なくされていたものです。しかも、この短い運転中に二度もトラブルを発生させています。一つは、蒸気発生器中の2次冷却水が喪失したとき、緊急給水するポンプに大きな圧力がかかるトラブルです。関電は、「ポンプ入り口にある金属製のフィルターに鉄さびが詰まったことが原因」としています。老朽原発を全国に先駆けて動かそうとして準備してきたにも拘らず、鉄さびによる目詰まりにも気づかなかつた関電と原子力規制委員会のいい加減さは許されるものではありません。

さらに、美浜3号機では、再稼働を目前にした去る8月1日、放射性物質を含む水7トンが漏洩していることが発覚しています。漏れ出た放射性物質量は、220万ベクレルと発表されていますが、国が法令上のトラブルとする370万ベクレルに近い量です。

なお、関電の原発では、再稼働の直前、直後にトラブルが頻発しています。トラブル頻発は、配管腐食、機器の損傷、機器の点検や保守・交換時の施工ミス（ボルトに閉め忘れや溶接ミス等）は防ぎきれないことを示唆するとともに、関電の弛緩しきり、傲慢な体質のためだとも考えられます。トラブル頻発の原発再稼働を許してはなりません！

8.10「老朽原発・美浜3号再稼働阻止現地緊急行動」に決起！

「老朽原発うごかすな！実行委員会」は「老朽原発完全廃炉を勝ち取るまで、粘り強く、何度でも決起する」の決意の下に、再稼働延期に関わらず、8月10日に予定していた「老朽原発・美浜3号再稼働阻止現地緊急行動」を予定どおり決行し、美浜3号機再稼働を画策する関電に抗議し、美浜町の皆さんに老朽原発再稼働阻止の行動への参加を呼びかけました。

8月10日、美浜原発近辺（美浜原発に通じる丹生大橋前を北に約300mの道路脇）に、京都、大阪、滋賀などの関西、福井市方面、若狭各地、美浜町内からマイクロバス、自家用車などで結集した約80人は、原発前をデモ行進（13時出発）して、「美浜3号このまま廃炉！」「原発全廃！」を力一杯訴えました。後、関電原子力事業本部前に移動して、14時30分から抗議・申し入れ行動を展開しました。抗議集会は、「京都脱原発原告団」の吉田明生さんの司会で進行し、「老朽原発うごかすな！実行委員会」の中嶋哲演さん、美浜町議の松下照幸さん、「オール福井反原発連絡会」の林広員さん、滋賀、大阪、京都の代表が、トラブル多発の原発の稼働を画策する関電を糾弾し、各地での脱原発・反原発の闘いを報告され、「原発全廃」に向けての強い決意を述べられました。途中、代表が、関電の経営陣への「危険極まりない老朽原発・美浜3号機の再稼働準備の即時中止と廃炉」「関電の原発の全廃」を求める申し入れを行いました（裏面に申し入れ文）。

抗議行動後は、猛暑の中の町内デモ（約2km）に移り、炎天にも届くシュプレヒコール、ショートコールによって「老朽原発・美浜3号廃炉」「原発全廃」「トラブル続き、銭金まみれの関電糾弾」を訴えました。町内デモの途中、各所で美浜町の皆さんのご声援を得ました。「美浜町民です」と名乗ってデモに参加された若い女性もおられました。なお、8.10行動の宣伝途中にも、「老朽原発うごかすな！」の鉢巻きをまいた街宣車をご覧になった若い女性から「思いは一緒です」との激励とともに、多量の冷たいお茶の差し入れいただきました。

8.10行動にご参加、ご支援いただきました皆様、ありがとうございました。
老朽原発・美浜3号機廃炉に向けてさらに前進しましょう！

2022年8月11日

老朽原発うごかすな！実行委員会
連絡先・木原（090-1965-7102）

定期検査中の関西電力美浜原発3号機（福井県美浜町、82・6万キロワット）が当初運転再開を予定していた10日、40年超原発の廃炉を求める団体らが同原発前で抗議デモを行った。デモは、「老朽原発うごかすな！実行委員会」が主催し、約80人が参加。老朽原発は廃炉せよ「原発廃炉が最大の安全対策だ」などと叫びながら行進した。3号機は今日1日に発覚した放射性物質を含む水漏れで運転再開を延期し、日程は現在も未定のまま。実行委

廃炉求め 抗議デモ

福井 美浜原発前で80人



の木原壮林・元日本原子力研究所研究員は「これだけトラブルが多いのだから、少なくとも総点検し直すべき。1カ月2カ月での再稼働はありえない」と語気を強めた。

【高橋隆輔】

毎日新聞2022年8月11日

美浜原発前デモ行進

